



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
令和元年度学校だより
第 11 号
令和2年1月7日発行

新春を迎えて 目標に向かって、一日一日を大切に！



雪も降らず、穏やかな天候で始まった 2020(令和2)年。地域の皆様、保護者の皆様におかれましては、おそろいで幸多き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、本校教育の推進につきまして格別のご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。また、子どもたちが無事に冬休みを過ごすことができましたことにも感謝申し上げます。ありがとうございました。本年も何卒よろしくお願いいたします。

昨年末は、インフルエンザの大流行に見舞われ、おうちの方にも多くのご心配をおかけしましたが、無事、3学期の始業式を迎えることができました。登校してくる子どもたちの顔やあいさつをする声から、新年を迎え、新たに立てた目標に向かってがんばろうという意気込みを感じました。

3学期は、学年の締めくくりであると同時に、次の学年への準備の期間です。3か月といっても、わずか50日ほどしかありません。目標に向かって、まず何をするのか、今すべきことは何か、一人で、そして仲間と一緒に考えながら、「やってみる、あきらめない」ことを大切に、一日一日を過ごそうと始業式に話をしました。全校みんなが心と体を鍛え、進級、そして卒業に自信を持って臨めるよう、教職員一丸となって、子どもたちの指導・支援に当たっていきます。

今年も引き続き、皆様のご支援・ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。



校長 小森 昌子
教職員 一同

「やっぱり大作戦」

年末年始にかけて、多くのスポーツ選手の活躍の場を見ることができました。それぞれにこれまで積み上げてきたことを精一杯発揮して結果を出していく姿に、見ていて感動しました。

箱根駅伝では青山学院大学の「やっぱり作戦」が話題になりました。「やっぱり青学大は強かった」と言われたという願いを込めた作戦だったそうですが、「やっぱり」という言葉には、前と同様に、という意味があります。

教育の世界で「不易と流行」という言葉をよく

聞きます。この「不易」に「やっぱり」が潜んでいるのではないかと思います。早寝早起きをする子は「やっぱり」元気。本をよく読む子は「やっぱり」言葉をよく知っている。お手伝いをしている子は「やっぱり」手際がいい。やれば「やっぱり」いいと分かっていることは、たくさんあります。分かってはいるんだけど・・・から、まずは一つだけ、やってみませんか、「やっぱり」大作戦。

※不易：時代を超えて変わらない価値のあるもの
流行：時代の変化とともに変えていく必要があるもの

今年も 登下校の見守りをよろしく願いいたします。

ダイヤモンドパトロール隊の皆様、PTAの皆様には、いつも子どもたちを温かく見守っていただき、ありがとうございます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

3学期は、雪が積もったり、凍結したりすることが多くなります。安全に登校できるよう、学校でも指導をしますが、危険なことがありましたら、すぐに指導していただきますとともに、学校にもお知らせいただければ幸いです。

京都府 PTA 協議会・舞鶴ユネスコ協会 より

書き損じはがきの回収にご協力をお願いします！



11枚の書き損じはがきで一人の子どもがひと月学校に行ける国もあるそうです。一人でも多くの子どもたちに学びの場を保障したいものです。京都府PTA協議会も、子どもたちの健全育成を図るため「書き損じはがきの回収」に取り組んでいます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

1月19日(日)の年賀はがきの抽選会が終わってから、持たせていただければ結構です。

※消印がなくても、郵便局を通過したはがきは取り扱えません。ご注意ください。 締切 1月30日(木)